

## 事業活動（研修会・講習会等）報告書－1

1	活動名称	令和7年度「講演会」 ※参加者：42名
2	実施日時	令和7年8月29日（金）
		15時00分～16時30分（90分）（会場参加）
3	担当幹事	事務局
4-1	実施内容・名称	研修内容①：「技術伝承という幻～私の橋梁人生、先人に学び伝えること～」 研修内容②：「北海道土木技術会コンクリート研究委員会の活動紹介」
4-2	講義の概要	<p><b>研修内容①：技術伝承の再考と橋梁技術の展望</b></p> <p>1. <u>講演の背景と目的</u> 建設コンサルタントとしての約35年にわたる橋梁の計画・設計、補修・補強業務の経験に基づき、技術力の定義や後輩育成における「技術伝承」の在り方を問い合わせ直す。</p> <p>2. <u>構成および内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術伝承への問い合わせ：急激な情報技術の進化の中で、伝統的な技術伝承が持つ意義や可能性について考察する。</li> <li>・実務事例の紹介：携わった具体的な橋梁業務を例に、技術的特徴や創意工夫した点を解説する。</li> <li>・先人への学びと将来展望：過去の技術者の業績を振り返り、次世代の技術者に求められる資質や姿勢についての私見を述べる。</li> </ul> <p><b>研修内容②：北海道土木技術会コンクリート研究委員会の歩みと将来展望</b></p> <p>1. <u>講演の背景と目的</u> 北海道土木技術会コンクリート研究委員会の設立70周年（1954年設立）を記念し、これまでの委員会の活動実績を振り返るとともに、積雪寒冷地におけるコンクリート技術の継承と今後の委員会活動の在り方を提示する。</p> <p>2. <u>構成および内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の組織と役割：北海道における土木技術の進展と普及を目的とし、現在は維持管理、設計仕様、国際交流など多岐にわたる小委員会で構成されている。産官学が連携し、現場見学会や技術発表会、指針の策定などを通じて地域社会へ貢献している。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 70 年の活動実績と成果：1950 年代の PC グラウト施工指針の発刊から、近年の「北海道におけるコンクリート構造物の性能保全技術指針」の公表に至るまで、常に時代の要請に応じた技術発信を継続してきた。土木の日パネル展などの広報活動を通じ、選奨土木遺産（タウシュベツ川橋梁等）の紹介など、土木技術の普及にも注力している。</li> <li>・ 将来に向けた提言：AI や DX、BIM/CIM といった最新情報技術との融合を図りつつ、先人の知恵をどのように次世代へ継承し、北海道の社会基盤を支えていくべきかについての考察を述べる。</li> </ul>
4-3	講師（氏名・所属会社名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修内容①：</li> <li>株式会社構研エンジニアリング 顧問 木村 和之 氏</li> <li>・ 研修内容②：</li> <li>北海道土木技術会 コンクリート研究委員会 委員長 杉山 隆文 氏</li> </ul>

## 事業活動（研修会・講習会等）実施報告書－2

5-1	実施状況写真	
	<p><b>研修内容①：</b> <b>「技術伝承とい う幻～私の橋梁 人生、先人に学び 伝えること～」</b></p>	  

研修内容②：  
「北海道土木技術会 コンクリート研究委員会の活動紹介」

